

事業計画書

事業名	西浦の森再生プロジェクト
実施場所	オートキャンプもぐら
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年 6月 1日 ~ 2025年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

オートキャンプもぐらのある場所は、35年前に大企業により造成、土木工事が行われたがそのまま使われずにいた山です。この場所の現在は土地は痩せ、単一植物が群生し多様性が失われ、小さい土砂崩れの跡も数箇所あります。

当時の工事や植林によって山の涵養力が失われ、それにより土砂崩れや生物多様性が失われている山を、元の健全な状態の山に再生するプロジェクトです。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

このプロジェクトを通して、環境再生に賛同してくれる人を集めコミュニティを作り、この活動の輪を広げていけたらと考えます。そして参加者（沼津市民や周辺地域の方）に現代の山で起きている問題を理解してもらい、自然環境に対する意識の改善を目的とします。

無知だったことにより自然を意図せず破壊してしまった昭和、それを修復していくのが令和の時代と考えます。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
2024年 6月1,2日 9月28,29日	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 土地の不健康な場所を題材に、矢野さんの「大地の再生」や高田さんの「土中環境」の考え方をもっている、伊豆で造園屋さんをやっている高橋洋平さん講師を呼んでワークショップ形式で実施します。参加者は10人くらいを想定し、参加者にしっかりと知識をつけてもらえるように、このくらいの人数で開催しています。
2025年 2月1,2日 3月22,23日	ワークショップの内容は座学を30分から60分行い知識をつけた後に、実際に山に入り、道の作り方、階段の作り方、ボサ置きの作り方、石積みの作り方などを説明します。スコップや鍬などを使い、山の中にある素材の落ち葉、枝、石と、持ち込んだ素材の焼き杭、炭、くんたん（粃殻を炭にしたもの）を用いて施工方法をレクチャーします。

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載してください。</p> <p>10年20年後に動植物の多様性が豊かになる。肥沃な土地になり、栄養が川を流れて海まで届き、豊かな環境が波及する。水の滞りがなくなり土砂崩れが減る。</p> <p>参加者で環境再生のコミュニティを作り、自然環境に対する意識の改善の輪を広げる。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>参加者の自然環境に対する意識の改善</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>参加者にアンケートを依頼し、データを取る</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>現代において植林され多様性を失った山や、道路工事により谷が埋められ水の流が詰まっている山、涵養力を失った山がたくさんあります。それが治せるという事例になれたらと考えています。また山と海は繋がっています。山を健全にすることで、海まで良くなり、漁場もよくなり漁業にとって有益と考えます。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>沼津市西浦の自然豊かな地域の山間部はあまり、一般の方達にオープンになっていません。この豊かな自然を楽しんでもらえ、気軽に立ち寄りやすい場所づくりを考えています。</p> <p>この環境再生には人手が必要です。環境再生コミュニティをつくり、少しずつ大きくしていけたらと考えてます。来た人たちが互いにいい影響を与え合う場ができれば良いと考えてます。</p>
独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>この環境再生に賛同してくれる人でコミュニティを作ります。</p> <p>この人たちには無料で入れる会員になってもらいます。メーリングリストやweb掲示板を作り、継続的にコミュニケーションを取り、今までは少数だったこの環境再生の手法や考え方をコミュニティを通して広げていきます。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>かかる費用は主に講師代と交通費などの諸経費と、木杭や石の材料費です。</p> <p>収入としては参加者の参加費があります。</p> <p>自然界は長い目で見ていく必要があるのですが、自然環境に変化が出てくるのが5~10年です。でもコミュニティは1年でできます。数回のワークショップを重ね、毎回参加してくれる人や、深く興味をもった人たちでコミュニティ作ります。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>コミュニティが確立されていき大きくなれば、参加者も増え活動が続けられると考えます。また企業研修や学生の社会科見学なども受け入れも考えています。</p> <p>この活動がうまくいけば多様性が復活し、動植物のウォッチングや採取にとっても適した場所になると考えます。</p> <p>今後沼津市内や近隣地域での山林の環境問題に対して行動できる団体を目指します。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後の活動としては、無料会員制度やキャンプ場の設備などをうまく使い、このコミュニティが自発的に継続的に動けるような仕掛けを作ろうと思います。山の環境再生には時間がかかるので10年以上は継続できるような仕掛けが良いと考えています。

去年から始めているこの活動を通して考えて、仲間とコミュニケーションをとり、参加者（市民や周辺地域の方）みんなの力で発展していけたら、自然に山の環境に対する意識の改善の輪も広がっていくと思います。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。